

ひろば

— 第196号 —
令和6年9月号



発行：自由ヶ丘地区
コミュニティ運営協議会
住所：自由ヶ丘3-12-11
TEL：32-5594 FAX：35-3250
メール：jiyuugaoka-cc@oboe.ocn.ne.jp
http://www.jiyuugaoka-cc.com/

自由ヶ丘人口調査
【令和6年7月31日現在】
世帯数 6,371世帯
人口 14,541人
男性 6,884人
女性 7,657人

自由ヶ丘コミセンが建て替わった10年前「人と人がつながるまち 自由ヶ丘」で何かがしたい！コミセンに足を運んでほしい！という思いでJまちカフェを立ち上げました。

Jまちカフェでゆんたく

*ゆんたくとは…沖縄の方言で、みんなで集まってわいわいおしゃべりすること。

7月20日（土）、コミセンのホールで開催されたのは、Jまちカフェふれあいコンサート♪今回は、ユリックスの同僚で結成されたバンド“吉野屋”さん。沖縄の音楽を中心に、聞く人に楽しさと癒やしを届けられています。緩やかな音色の三線と渋いアコースティックギターと透き通った歌声のハーモニーは、ホールをすっかり沖縄にしてくれました。はじめて聞く曲もあれば、沖縄といえば、コレ！という曲まで、あっという間の1時間でした。

9月で10年目を迎えるという“Jまちカフェ”。途中、コロナ禍で開催できないこともありましたが、時には中央公園でオープンカフェを開催したこともありましたが、**試行錯誤を重ね、苦労もありましたが、今こうして、たくさんの方がコミセンに足を運び、音楽に耳を傾け、コーヒーを飲みながらおしゃべりを楽しむ…Jまちカフェは“人と人が繋がる場所”になったんだなぁと感じました。**

宗像ユリックスの同僚で、2021年に結成したバンド“吉野屋”



「涙そうそう」、「島人ぬ宝」、「島唄」。会場のみなさんも一緒に歌いました♪



食進会

子どもわくわくクッキング教室

「料理は楽しい、そしておいしい」を子どもたちが体感



夏休み真っ最中の8月1日（木）、自由ヶ丘コミセンで小学生を対象に、「子どもわくわくクッキング教室」が行われました。集まった子どもは16人。始まる前からどの子も目が“キラキラ”。食進会が用意してくださったメニューは、「コーン入りおやき」、「ポークケチャップ」、「レタスのごまポンサラダ」、「コンソメスープ」、「フルーツポンチ」の夏らしい豪華5品。これらのメニューは、たんぱく質・脂質・炭水化物の三大栄養素の栄養バランスがしっかり考えられており、家庭でも意識してほしいとのことでした。また、**夏野菜を中心としたメニューは、汗をかくと失われる水分やビタミン類を多く含み、熱中症の予防にも役立つ**とか。まずは、食材を細かく切ったり、粉を混ぜたりするところから。包丁に慣れない子もいましたが、食進会のみなさんの指導もあり、すぐに慣れて切り揃えることができました。煮たり、焼いたり、冷やしたりと順調に調理。いよいよ料理が完成してお楽しみ時間の試食の時間。料理を一口ほおばると、どの子も満足げな表情で「おいしい、おいしい」を連発！「**おいしかったので家でも作って家族に食べさせたい**」と弾む声で答えてくれた子もいましたよ。「自分で料理を作るとおいしい、おいしい！」を実感できたひとときでした。



料理は楽しい～！お肉もお野菜も、たくさん食べました！



青少年育成部会

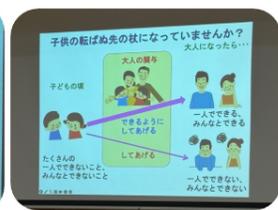
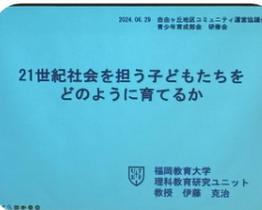
子どもたちの笑顔を守るため、大人たちは学びます



6月29日（土）、青少年育成部会では、部会活動にかかわる大人向けの研修会を開催しました。講師は、日頃より自由ヶ丘地区の子どもの育成や学校運営にも関わっていただいている伊藤克治先生。テーマは、「21世紀社会を担う子どもたちをどのように育てるか」。参加しているみなさんは、日ごろから青少年の育成に関わっていただいていると思いますが、自分たちが子どもの頃とは劇的に違う現代に育つ子どもたちができるサポートは何なのかを今一度考えるきっかけとなりました。**子どもたちには、たくさんのできないことがあります。のできないことをやってあげるのは簡単です。でも、子どもたちができるようになるためには、「してあげるのではなく、できるようにしてあげる」ことが大事**ですね。



後半は、伊藤先生の秘密兵器!? “えんたくん”なるものが登場！一見、丸い段ボールですが、4～5人で円になり、ひざを突き合わせた状態でこの段ボールを乗せると、テーブルに早変わり！しかも、自由にアイデアを書いたりできるので、気になるワードをメモできます。盛り上がりました。



シリーズ企画

自由ヶ丘のソコが知りたい！ NO.1

交通安全協会
自由ヶ丘支部

交通安全協会自由ヶ丘支部は12人で活動しています。小中学校の休みの期間を除き、毎月1日と20日と年4回（春・夏・秋・年末）の県民交通安全週間の間、朝7：30～8：20に、信号機のある交差点や横断歩道の7カ所で学童や歩行者の交通安全誘導をしています。また、自由ヶ丘地区の交通事故発生状況は増加傾向にあります。運転手も、歩行者も今一度、交通ルールを守るよう心がけてください。

さて、改正道路交通法により自転車の交通違反の罰則も厳しくなっています。もとより、安全に快適に自転車に乗るためにも、自転車安全利用五則を守りましょう！①車道が原則、左側を通行し歩道は例外、歩行者優先 ②交差点では信号と一時停止を守って、安全確認 ③夜間はライト点灯 ④飲酒運転は禁止 ⑤ヘルメット着用。

現在の課題の1つ目は、交通安全協会会員の加入者の減少です。交通安全協会への加入費が、各支部活動費として配分されます。みなさんの安心・安全な交通環境を守るためにも、免許更新時には加入をお願いします。2つ目は運転免許証のうっかり失効の増加です。再取得するには手間がかかります。協会に加入すれば失効防止対策となります。これからも、自由ヶ丘の交通安全を守るために活動していきます。ご協力をお願いします。

